

## はじめに

本書は、三部作(「出る! 出た! 英語長文 14 選 初級編」「出る! 出た! 英語長文 16 選 中級編」「出る! 出た! 英語長文 18 選 上級編」)の中で難易度が最も高い「出る! 出た! 英語長文 18 選 上級編」であり、すべての問題文が **601 語以上から成る英文** で編集されています。どの英文も入試問題に何度か出題されたことがある英文の中から精選したものです。2 度だけしか出題されていない英文も少なからずありますが、それらは主として今後出題される可能性が高い英文です。たとえば、ここ数年の間に 2 年連続で出題されているような英文とか、入試問題で好んで出題される内容の英文などが主です。

なお、解説編では、文構造をじっくり確認できるようにしてもらうために、構造分析のページを大幅に取ることにしました。その際に複雑だったり、難しめだったりする文に関しては、**文法&構造のポイント** をさらに付け加えて説明することにしました。また、問題を解くときは、本番のつもりで時間を計ってやってください。各問題に **目標解答時間** を付けてありますので、それを目安に解いてみてください。ただし、その時間にこだわりすぎてもよくありません。ときには 5 分~10 分延長してもかまいません。ただ、時間を計らずに漫然とやるのだけは避けてください。入試問題は時間との戦いでもあります。常に本番を意識して取り組みましょう。また、自分にとって難解と思われる設問をむきになって解こうとするのはやめましょう。一定時間内で解けない場合は、解答・解説を読んで、納得がいくようにすればそれでよいです。

最後にぜひ言っておきたいことは、1 度解いた後の学習の方がより大事ですので、計画的に本書をやり直した方がよいということです。設問自体を解いたり、語句や構造を確認するのは 1 度だけでもよいですが、英文そのものは、時間を見つけて数回読み直すと効果は 2 倍にも 3 倍にも上がるはずですよ。問題編の後に英文を再録してあります。一気に英文を読み通すことができるように、設問になっている空所には語句を埋めてあり、並べ換えの設問部分も元の語順に直してあります。

諸君の頑張りを期待しています。

2017 年 6 月

編者記す

はじめに	2
本書で用いている記号	4
<b>1</b> 人間関係において男と女はそれぞれ何を重視するか	6
<b>2</b> 男と女の話し方の違い	20
<b>3</b> 人間の経験と科学の関係	36
<b>4</b> 言語が思考に及ぼす影響	50
<b>5</b> 心当たりのない人から送られてくる誕生日のプレゼント	62
<b>6</b> 広告が消費者に与える影響	76
<b>7</b> 人間の平均寿命の伸びとそれが及ぼす影響	90
<b>8</b> 幸福のパラドックス	108
<b>9</b> 赤ん坊はいつどのように言語を習得するのか	126
<b>10</b> 10万ドルの塩こしょう入れ	140
<b>11</b> 自民族中心主義と文化	152
<b>12</b> お金で売買できないものはあるか	166
<b>13</b> 天賦の才能よりも継続が鍵である	180
<b>14</b> クジラとイルカはどうやって溺れずに眠るのか	200
<b>15</b> フロイトと神経症	216
<b>16</b> 父と母の運命的な出会い	232
<b>17</b> 東洋語と西洋語の数の体系の違い	252
<b>18</b> 人間の睡眠のメカニズム	272

## 解答

- 問1 to focus on the first and men on the
- 問2 しかし、彼女を最もうろたえさせたのは、ジョシュが友だちを招待する前に彼女と計画の相談をしないで、自分1人で計画を立てて彼女に伝えたことだった。
- 問3 リンダは「ジョシュに相談しなければならない」と人に言うことは気にならないだけではない。全く逆である。そういうふうにするのが好きなのである。
- 問4 ハ
- 問5 イ
- 問6 この世で生き残るために、他の人たちと協調して行動しなければならないが、ただ単に歯車の歯としてでなく、自分自身らしく生き残るために、1人で行動しなければならない。
- 問7 2, 7, 8, 10

## 解説

- 問1 [ ]内の前後は、以下のような構造になっている。

women tend to focus on the first  
and

men tend to focus on the second

下線部は共通項なので、省略されている。

また、tend to Vは「～する傾向がある」、focus on Oは「Oに重点を置く」という意味である。赤字の部分が並べ換えるべき部分である。

- 問2 主部が what upset her most 「彼女を最もうろたえさせたもの」である。upset Oで「Oをうろたえさせる・Oをろうばいさせる」という意味である。

また、on one's own「自分の力で・独力で」inform A of B「AにBを伝える・AにBを通知する」

extend an invitation は「招待をする」という意味であるが、extend the invitation となっているので、何か決まった招待を指しているとわかる。ここでは「友だちを招待する」ということを意味している。

- 問3 quite the contrary 「全く逆である」Not only が文頭に出ているせいで、後ろで(倒置)(does Linda)が起こっている。



## 各文の意味と構造

### 第1段落

① Intimacy is key (in a world of connection (where individuals negotiate complex networks of friendship, minimize differences, try to reach consensus, and avoid the appearance of superiority, (which would highlight differences))). ② (In a world of status), independence is key, because a primary means of establishing status is (to tell others what to do), and taking orders is a marker of low status. ③ (Though all humans need both intimacy and independence), women tend to focus (on the first) and men (on the second). ④ It is as if their life-blood ran (in different directions).

①「親しい関係」は、人と人とのつながりの世界では極めて重要である。この世界においては、友情が網の目状に複雑に入り組んだ中で1人ひとりがうまく立ち回り、意見の良い違いを最小限に抑え、意見の一致に達しようとし、そして違いを目立たせることになるのでどちらが優れているかが表に出ないようにする。②地位が問題の世界では、独立しているかどうか極めて重要である。なぜなら、地位を認めさせる主な手段が、他の人たちに何をすべきか命ずることであり、命令を受けることは低い地位を示すものだからである。③すべての人は親密であることと自立のどちらも必要とするが、女性は前者に重点を置き、男性は後者に重点を置く傾向がある。④生きていくのに必要な血がまるで違う方向に流れているかのようである。

### 第2段落

⑤ These differences can give women and men differing views of the same situation, as they did (in the case of a couple (I will call Linda and Josh)).

### 文法&構造のポイント

- ① where individuals negotiate complex networks of friendship... 以下文末まで、関係副詞 where で導かれる〈関係副詞節〉であり、先行詞は world である。
  - ① which would highlight differences の which の先行詞は、appearance of superiority。
  - ① superiority appears 「優越性が表に出る」の〈名詞表現〉が the appearance of superiority 「優越性の出現」である。したがって、「どちらが優れているかが表に出ること[表面化すること]」などのように訳せる。
  - ② because-節は、① a primary means of establishing status is to tell others what to do と ② taking orders is a marker of low status で構成されている。
  - ④ It is as if-節「~かのようなである」It は〈漠然と状況を指す〉機能と考えてよい。as if の後は〈仮定法過去〉になっているが、〈直説法〉が来ることも多い。
- ①  intimacy 図「親しい関係」     be key 「不可欠である・極めて重要である」  
 connection 図「人と人とのつながり[関係]」  
 negotiate O 圖「O をうまく処理する・O を取り決める」  
 a network 図「ネットワーク・网状組織」     minimize O 圖「O を最小にする」  
 consensus 図「意見の一致」     highlight O 圖「O を目立たせる・O を強調する」
  - ②  primary 圖「主たる」     establish O 圖「O を確立する・O を認めさせる」  
 an order 図「命令」    take orders 「人の言うとおりにする」  
 a marker of O 圖「O を示すもの・O の目印となるもの」
  - ③  focus on O 「O に重点を置く」
  - ④  life-blood 「(生命に必要な)血・生き血」

### 文法&構造のポイント

- ⑤ as they did in the case of a couple who [that / whom] I will call Linda and Josh のように who, that あるいは whom が省略されている。